

平成26年度

第6回岡山市保健福祉政策審議会における主要な意見

- 1 日 時 平成27年2月6日(金) 13:30~15:05
- 2 場 所 岡山市保健福祉会館9階 機能回復訓練室
- 3 出席者 委員9名
- 4 傍聴者 報道1名、傍聴者0名
- 5 議 題

- (1) 「生涯現役社会づくり」について
- (2) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しについて
 - ① パブリックコメントの結果について
 - ② 第6期計画案について

6 主要な意見

<「生涯現役社会づくり」について>

- ・ 事業そのものはいいと思う。進めていただきたい。
- ・ プラットフォームという、相談コーディネート窓口が肝のところだと思うが、なかなか難しい。一極集中ではこれは動かないと思う。
- ・ シルバーの方々の力を使ったらいいと思う。
- ・ 地域の口コミの力は大きいので、町内会、公民館、中学校や小学校の集まりを利用するというとも考えてはどうか。

<第6期計画案について>

- ・ 要支援1及び2の方は、介護サービスを利用される方は少なく、結局お守りがわりになっているという実態が多いように思う。サービスを利用しなくても、要介護認定をするためにもかなりの費用がかかっているという市民の意識も必要だと思う。
- ・ 新しい総合事業が始まると、現在要支援者が利用している通所介護、訪問介護は、認定を受けなくても基本チェックリストで利用できる仕組みになると思うため、市民の方々が要支援認定の申請をする際に市がきちんとアドバイスするというような仕組みも必要なのではないか。
- ・ いろいろな仕組みや取り組みというのは、点ではできたと思うが、それをつないでいく人材が必要。また、地域差を考慮した上で考えていかないといけないと思う。
- ・ 介護サービスについては、施設整備だけでなく、地域の実情に応じて、在宅系と施設系のバランスをとりながら進めていくほうが良いと思う。